



平成 28 年 2 月 29 日（月曜日）昼休み、  
アカデミー賞の発表を見守る栗市長と市職員

ごあいさつ

平成 28 年 3 月 3 日

春一番が吹いた翌日に一面の雪景色となりました。このような天候が続いて、春が近づいてきます。そして、3月は行政の仕事をするものにとっては「締めくくりの月」です。

さて、先月 29 日にはハリウッドでアカデミー賞の発表があり、本市出身の米林宏昌監督の「思い出のマーニー」が長編アニメーション賞にノミネートされていました。朝から何となく落ち着かず、仕事も手につかない状態で、市長室で衛星放送に見入り、米林監督の同級生である職員数人と「その瞬間」を待ち続けました。結果は、残念なことにオスカー像を手にはできませんでしたが、改めて米林監督が世界の舞台上で活躍される方なのだ と確信しました。うれしいことに監督自身が作品の様々な描写のなかで、ふるさと野々市で経験されたことを表現されていると言われています。

総合計画のなかで、「公共の経営」「市民協働のまちづくり」「野々市ブランドの確立」ということで将来へのまちづくりに取り組んでいます。米林監督のご活躍はまさに「野々市ブランドの確立」を象徴することだと思います。

常々いろいろなことを通して市民の皆さんに活躍していただく気運を大切にしながら、その環境づくり、舞台づくりを進めていることを申し上げております。この3月定例議会にあげました新年度予算総額は 297 億 5,700 万円と、過去最大となりました。基本的には市民の皆さんに安全で安心して野々市に住んでいただけるよう、将来を見据えた予算付けをさせていただきました。このような時代ですので国・県・自治体の財政状態は大変厳しく、自治体においては自主的な財源を努力して確保しても、その努力をすればするだけ国の支援を受けることができないこととなります。ただ、財政的に厳しいからといって、それを言い訳に事業を縮小し、生活することへの不安感をあおるようなことはしたくはありません。そのような中であっても野々市らしい特徴を生かし、着実な計画でまちづくりを進めていきたいと思っております。

今月 19 日、20 日は「のいち椿まつり 2016」が文化会館周辺で開催されます。来年は同時に「第 27 回全国椿サミット野々市大会」も開催され、今年の椿まつりはプレ大会となります。多くの市民の皆さんのご協力、ご参加をいただき、春の訪れを告げる「椿まつり」を楽しんでいただければと思います。